

学術機関リポジトリへ論文等ご提供のお願い

豊橋技術科学大学学術機関リポジトリ

[https:// repo.lib.tut.ac.jp/](https://repo.lib.tut.ac.jp/)

豊橋技術科学大学学術機関リポジトリとは、本学で生産された学術研究成果(雑誌論文など)を収集, 電子的に蓄積・保存し, インターネットを通じて無償で広く世界に向けて公開する, 知の保存書庫であり, 情報発信サービスです。本学では, NII(国立情報学研究所)のJAIRO Cloud(ジャイロ クラウド)上に学術研究成果のデータを保存し, 情報を発信しています。



2013年2月に正式公開を始めてから約5年が経ちました。現在は, 博士論文, 紀要「雲雀野」掲載論文, 学術雑誌論文の登録を順次行い, 世界へ向けて 無料公開, 情報発信しています。2021年3月末までの登録論文は1,966本, うち本文PDFファイル登録論文が931本になっています。

今後は, 海外も含めた学術雑誌掲載論文の収集, 登録に努めたいと思いますので論文原稿等のご提供等, ご協力をお願いいたします。 ⇒登録(論文等ご提供頂く方法)は次頁へ

機関リポジトリに登録できる学術研究成果は

- ・本学に在籍している, または在籍したことのある教職員・大学院生等の作成した学術研究成果です。
- ・学術研究成果の種類は,
学術雑誌論文・紀要論文・学位論文・一般雑誌記事・会議発表論文・会議発表用資料・図書・研究報告書・プレプリント・教材・データ・データベース・ソフトウェアなど,
あらゆる種類のものを対象としています。

「本学学術機関リポジトリ運用指針」<http://www.lib.tut.ac.jp/repo/shishin.pdf> 参照

著作権については

- ・学術研究成果の著者または出版社に帰属する著作権は, そのまま保持されます。機関リポジトリに登録することで, 著作権が移行することはありません。
- ・著作権者から機関リポジトリに登録・公開の許諾を得た範囲内のものを登録します。
- ・著作権が出版社にある場合は, 機関リポジトリへ登録してよいかという著作権ポリシーを図書館で確認してから登録します。

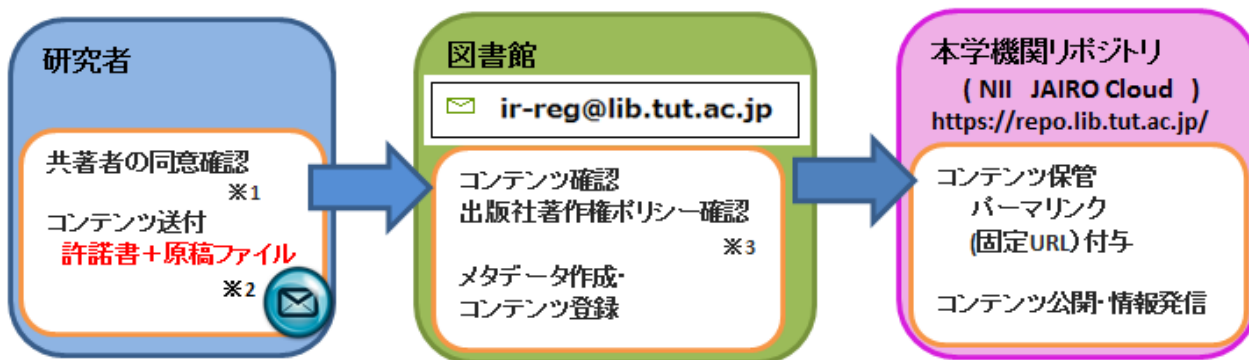
■ 機関リポジトリに登録するには 学術雑誌論文の場合

電子メールで、「登録許諾書」と 学術研究成果の「原稿の電子ファイル」を
コンテンツ送付先専用メールアドレス>> ir-reg@lib.tut.ac.jp に送付ください。

「登録許諾書」は、[機関リポジトリページ](https://repo.lib.tut.ac.jp/) > **コンテンツ登録方法**

https://repo.lib.tut.ac.jp/?page_id=31 の「登録許諾書様式」の項目からダウンロード可能です。

登録作業は図書館で行いますので、「登録許諾書」と「原稿ファイル」を送付頂くだけです！



【送付頂くときのご注意点】

※1 著作権が本人または共著者にある場合は、共著者の許諾をあらかじめ得てから送付をお願いします。
著作権が出版社や学会にある場合は、共著者の許諾は不要です。

※2 原稿ファイルの容量が大きい場合は、CD-ROMやUSBファイルでの送付も可能です。
原稿が抜刷や雑誌など紙媒体の場合は、図書館にご相談ください。

Word, PowerPoint, PDFなどファイル形式は問いません。本文と図版など複数のファイルになっている場合もそのままお送りください。図書館でPDFファイルに変換して登録します。

※3 出版社の、リポジトリへ登録可能かどうかという著作権ポリシーは図書館で確認します。

[SHERPA/RoMEO Publisher copyright policies & self-archiving](#),

[SCPJ 学協会著作権ポリシーデータベース](#) のサイトでも各出版者・学協会等の著作権ポリシーを確認することができます。ElsevierやSpringerをはじめとして、多くの海外出版社が、**査読済の著者最終稿 (post-print : i.e. final draft post-refereeing)**を機関リポジトリへ登録することを認めています。

博士論文の場合

博士論文については、平成25年4月以降学位を取得の場合は、機関リポジトリでの公表が義務づけられました。詳細は「[図書館からのお知らせ 機関リポジトリ特集No.2](#)」<http://www.lib.tut.ac.jp/oshirase/repo2.pdf>をご覧ください。

平成25年3月までに学位を取得された方で、機関リポジトリに博士論文の登録を許諾頂ける場合は、「**登録許諾書**」と博士論文ファイルを送付してください。論文ファイルがない場合は、図書館に所蔵している冊子体からPDFファイルを作成し登録させていただきます。

論文以外の著作物の場合

図書館へご一報ください。登録方法について相談させていただきます。

★海外の出版社の著作権ポリシーの確認 →

[Serpa/Romeo Publisher copyright policies & self-archiving](https://v2.sherpa.ac.uk/romeo/) <https://v2.sherpa.ac.uk/romeo/>

The screenshot shows the Sherpa Romeo interface for the journal 'Polymer'. It includes sections for 'Publication Information' (Title: Polymer, ISSN: 0032-3861, URL: http://www.elsevier.com/wps/product/cws_home/30466/description, Publisher: Elsevier) and 'Publisher Policy'. The policy section lists 'Open Access pathways permitted by this journal's policy are listed below in a more detailed view.' Below this, there are three rows of archiving options:

- Published Version [pathway c]:** None, CC BY, PMC. Institutional Repository, Subject Repository, PMC, Research for Development Repository.
- Accepted Version [pathway a]:** None, CC BY-NC-ND. arXiv, RePEc, Author's Homepage.
- Accepted Version [pathway b]:** 24m, CC BY-NC-ND. Institutional Repository, Subject Repository.

Other policy details include an embargo of 24 months, a CC BY-NC-ND license, and a requirement to link to the publisher version with a DOI.

Institutional Repository で公開可能な Version 条件に従い登録
例) Embargo 24 Month -->
本文は24ヶ月後に登録

★日本の学協会の著作権ポリシーの確認 → JPCORE オープンアクセスリポジトリ推進協会

[SCPJ 学協会著作権ポリシーデータベース](https://jpcore.repo.nii.ac.jp/page/133) <https://jpcore.repo.nii.ac.jp/page/133>

The screenshot shows the SCPJ website header with the title '学協会著作権ポリシーデータベース' and 'Society Copyright Policies in Japan'. Below the header, there is a section titled '学協会の著作権ポリシーを調べる' (Check the copyright policy of the association). The text states: '日本国内の学協会の機関リポジトリに対する論文掲載許諾状況についてGoogleスプレッドシートで一覧を提供します。下記URLにアクセスしてください。' (We provide a list of journal publication permission status for domestic associations' institutional repositories via Google Spreadsheet. Please access the following URL.)

The URL provided is <http://id.nii.ac.jp/1458/00000186/>.

スプレッドシートに記載された条件に従い登録

学協会の著作権ポリシー凡例

- Green…査読前・査読後のどちらでもよい
- Blue…査読後の論文のみ認める
- Yellow…査読前の論文のみ認める
- Gray…検討中・非公開・無回答・その他
- White…リポジトリへの保存を認めていない

機関リポジトリに登録するメリット

✓ 論文の可視性の向上・被引用率の増加

機関リポジトリに登録された論文は、[Google](#)、[Google Scholar](#)などの検索エンジン、[CiNii](#)、[IRDB](#)、[OAster](#)などの文献情報検索サイトからも検索できるようになります。無料で広くインターネット上に公開することにより、高額な雑誌を購読しなくても論文内容を閲覧することが可能となり、世界中のより多くの研究者の目に触れ、被引用回数が増えることが見込まれます。

実際、下の論文の事例の場合、利用統計を見ると、海外からも閲覧されていることがわかります。

✓ 大学の説明責任の履行・社会への研究成果の還元

広く大学の研究者だけでなく、企業の研究者、一般利用者も閲覧することが可能です。大学の社会への説明責任を果たすとともに、地域社会に本学の先進的技術を還元する機会を広げ、社会に貢献することができます。大学の広報にも繋がります。

✓ 研究成果の管理・永続的保存

[NII\(国立情報学研究所\)](#)の[JAIRO Cloud](#)サーバに、個人では散逸しがちな電子的データを、個人に代わって管理・保存します。パーマリンク(永久的な固有のURL)も付与され、大学を異動・退職後も永続的に保存・公開することが可能です。今後DOIも付与の予定です。

論文ごとにパーマリンクが付与されます
http://id.nii.ac.jp/1117/00000270/

台湾やオランダからも
閲覧されています

WEKO: 漢語"意義上の被動句"と日本語の被動句
利用統計を見る

開覧回数
2013年09月の統計
8

ダウンロード回数
2013年09月の統計
13

本学学術機関リポジトリを蓄積・発展させるため
是非、学術研究成果のご提供をお願いします！

コンテンツ送付先専用メールアドレス >>

✉ ir-reg@lib.tut.ac.jp

T 国立大学法人豊橋技術科学大学 教務課 情報・図書室 情報サービス係
お問合せ先 E-mail: gakujo@office.tut.ac.jp 電話: 0532-44-6564 内線 6564
住所: 〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1